

29年1月分 プレカットの荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成29年 1月1日～ 29年1月10日

2. 調査実施方法

全国のプレカット工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
1月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) プレカット加工用部材の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/1月	29/2月	29/3月
仕入 動向	国産材製材品	△ 42.9	△ 57.1	△ 7.1
	外材製材品	△ 35.7	△ 57.1	0.0
	構造用集成材	△ 33.3	△ 50.0	0.0
消費 動向	国産材製材品	△ 50.0	△ 64.3	△ 21.4
	外材製材品	△ 42.9	△ 64.3	△ 14.3
	構造用集成材	△ 50.0	△ 60.0	0.0
在庫 動向	国産材製材品	△ 21.4	△ 35.7	△ 14.3
	外材製材品	△ 21.4	△ 35.7	△ 14.3
	構造用集成材	△ 25.0	△ 33.3	△ 8.3

・プレカット加工用部材の仕入れは、1月、2月は大きく減少、3月は小幅の減少ないし横ばい。

・プレカット加工用部材の消費は、1月、2月は大きく減少、3月は減少ないし横ばい。

・プレカット加工用部材の在庫は、3ヵ月連続して減少。

(2) プレカット工場受注動向 Weight. D. I.

品目	29/1月	29/2月	29/3月
受注	△ 35.7	△ 57.1	△ 14.3
加工	△ 35.7	△ 57.1	△ 21.4
受注残	△ 28.6	△ 50.0	△ 14.3

・プレカット工場の受注、加工及び受注残は3ヵ月連続して減少。

モニターからのコメント

(加工用部材荷動き)

- ・すべての樹種で値上がり傾向、仕入れは低迷、春需待ち。製材所は玉不足、消費低迷で春需待ち。在庫は低水準で推移。
- ・ピークを過ぎた。1月～2月と季節要因もあり仕事は減る。3月以降に回復。基本的には在庫はしない。
- ・合板、集成材等は相変わらずタイト。

(受注動向)

- ・不需求期の真っ只中につき、受注・加工・受注残とも減少。
- ・ピークは過ぎ少し落ち着いてきた。